

報告第12号

株式会社日高振興公社第27期の決算及び第28期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和3年6月17日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社 日高振興公社 第27期 事業報告

1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、新型コロナウイルス感染症に伴う、緊急事態宣言を受け、兵庫県は4月7日から5月21日、1月14日から2月28日の2回発出しました。時短営業や休業要請、不要不急の外出を控えるなどの自粛要請により、経済全体に深刻な影響を与えています。特に飲食店の倒産件数は2020年度で780件となり、事業の継続が難しくなっています。

また、但馬地域においては日高神鍋高原ICが延伸し、但馬空港ICが11月1日に開通しました。交通網の利便性により、観光活性化が期待されています。1月以降は3年ぶりのまとまった降雪により、神鍋高原スキー場は10万8千人(前年2万3千人)となり、賑わいを取り戻しました。ただし、昨年度以上に観光客は減少し、イベント自粛が追い打ちをかける中、行政の助成金・補助金等を活用し、感染症対策や経済支援クーポンで収益を補いながら1年を終えることが出来ました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、他府県の事業所訪問やコンサルタントの指導、地元企業・高校生との連携強化により、店舗展開(坪単価・客単価アップ)や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態・新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、本事業年度は新型コロナウイルス感染症対策を含めた危機管理マニュアルの新規作成及び講習会を開催し、異常事態・事故発生時等の対応についても全従業員で取り組みました。

○来客数

道の駅「神鍋高原」	100,356人(前年度比:85% △17,473人)
神鍋温泉ゆとろぎ	54,024人(前年度比:82% △11,642人)

結果、当事業年度における業績は、

売上高	168,624千円(前年度比:93% △12,809千円)
営業利益	△7,069千円(前年度比:—% △2,733千円)
経常利益	3,592千円(前年度比:—% 6,787千円)
当期純利益	3,304千円(前年度比:—% 5,904千円)

(当期純利益 前年度:△2,600千円)となりました。

(1) 道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

当事業年度は新型コロナウイルス感染症対策関連商品の需要により、直売所の生産者による手作りマスクや携帯用スプレーボトルケース等が年間 4,504 千円売上げました。また、GoTo トラベルの地域共通クーポンや兵庫県温泉地お土産購入券、S T A Y 豊岡や豊岡市プレミアム付き応援商品券等、経済支援クーポンの利用が 19,014 千円となり、売店部門の売上全体の 17%を占めました。

新たな取り組みとして、9月からテイクアウトコーヒーや自宅用のコーヒー豆等の販売を開始し、売上金額 361 千円となりました。また、コロナ渦で在庫を抱えたお土産業者の応援セールを開催し、売上金額 813 千円となりました。

イベントでは6月の神鍋高原キャベツまつりは中止しましたが、8月の神鍋高原スイカまつりは縮小開催しました。また、新たなイベントとして、11月15日には第1回神鍋ねぎまつりを開催し、農産物の地域ブランド化に取り組みました。ねぎ年間販売数 6,666 個、売上金額 1,011 千円、昨年より販売数 1,443 個、売上金額 236 千円、前年比 31%増加しました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB 商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○高校生商品	年間販売数： 3,049 個	売上金額： 1,295 千円
○よりどり3個セット	年間販売数： 1,113 個	売上金額： 1,113 千円
○キャベツチップ	年間販売数： 2,261 個	売上金額： 1,037 千円
○ほんまもん神鍋	年間販売数： 9,561 個	売上金額： 6,201 千円

② 飲食部門

毎年7月・8月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」は今年で9年目を迎えました。全但バスと協議を重ね、感染症対策を行い、客数 319 名、売上金額 897 千円、バス乗客 176 名、昨年より客数 351 名、売上金額 936 千円、バス乗客 186 名減少となり、前年比 49%と激減しました。

平日の集客に向け、「但馬牛すじカレー」の販売を開始し、販売数量 872 食、売上金額 707 千円となり、人気商品として定番化しました。また、コロナ渦でのテイクアウト需要を見込み、新たに神鍋清流サーモンバーガーやお弁当、惣菜等を販売し、販売数量 1,837 食、売上金額 750 千円となりました。引き続き次年度に向け、平日の集客に繋がるメニュー開発を行っています。

土、日、祝日のランチビュッフェは中止期間が長く、8月から1月までの開催となりました。客数 5,799 名、売上金額 6,225 千円となり、昨年より客数 10,489 名、売上金額 10,944 千円減少となりました。

自粛ムードが続く中での飲食業の運営は大変難しく、休業要請や時短営業への対応、空気清浄機やアクリル板の設置等、感染症対策も重点的に行いました。集客が見込めない中で、メニュー構成や仕入れの見直し等、より効率的な運営に努めました。また、定期的な消毒・清掃等、点検日を設けることで衛生面にも目配りができる環境となっています。

(2) 神鍋温泉ゆとろぎ

4月は但東チューリップまつりのチューリップ湯や12月のゆず湯など、地域連携による季節湯を実施し、見た目や香りも楽しんでいただけました。

本年度、スキー場は降雪により賑わい、「スキーリフト券利用者割引」の利用者は6,874名(前年比387%)と大きく増加しました。さらに継続事業のフォレストアドベンチャー奥神鍋(595名利用)、パラグライダースクール(45名利用)、但馬ドーム(141名利用)、全但バス神鍋線(141名利用)と提携した割引サービスは非常に効果がありました。

本年度の新たな取り組みとして、①苦情・相談・事故対応マニュアル作成、②入館制限や消毒液・空気清浄機の導入等の新型コロナウイルス感染症対策の実施、③UFOキャッチャー設置などを行いました。また、昨年度から取り組んでいる「入浴料とフェイスタオル、バスタオル」が付いた入浴セットの販売が好調で、年間1,386セット、売上金額1,507千円となり、定番化してきました。

毎週水曜日に定休日を設け、清掃・消毒等の衛生面、浴場や機械設備等の修繕工事を実施し、お客様に気持ちよく利用していただけるよう保守・維持管理を強化しました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
売店部門	120,993	125,684	116,322	107,315	113,343
飲食部門	40,755	41,477	36,015	32,510	17,835
温泉部門	39,808	41,654	38,382	37,654	33,477
市受託料	4,077	4,026	4,006	3,954	3,969
合 計	205,633	212,841	194,725	181,433	168,624

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期	第 27 期
経常利益	1,926	5,306	4,109	△3,195	3,592
当期純利益	1,715	5,094	3,898	△2,600	3,304
総資産	32,137	39,231	37,761	34,296	70,317
純資産	16,204	21,299	25,196	22,597	25,901

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	岡 藤 泰 明
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	細 谷 文 夫
監 査 役	谷 口 雄 彦
監 査 役	玉 置 孝 至

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	5	男性 3 人、女性 2 人
パート	15	男性 2 人、女性 13 人
計	20	男性 5 人、女性 15 人

決 算 報 告 書

第 27 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 3年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 65,304,219】	【流動負債】	【 14,416,652】
現金及び預金	59,877,024	買掛金	929,978
売掛金	2,137,648	受託未払金	3,346,790
商品	403,060	未払金	7,414,081
原材料	580,615	預り金	52,903
貯蔵品	293,711	預り敷金	100,000
未収入金	2,012,161	法人税等充当金	289,700
【固定資産】	【 5,013,035】	未払消費税	2,283,200
(有形固定資産)	(4,625,101)	【固定負債】	【 30,000,000】
建物	3,048,313	長期借入金	30,000,000
建物付属設備	138,556	負債の部計	44,416,652
車両運搬具	2	純資産の部	
工具器具備品	1,438,230	【株主資本】	【 25,900,602】
(無形固定資産)	(387,934)	[資本金]	[36,000,000]
ソフトウェア	387,934	[利益剰余金]	[Δ10,099,398]
		利益準備金	9,000,000
		(その他利益剰余金)	(Δ19,099,398)
		繰越利益剰余金	Δ19,099,398
		(うち当期純利益)	(3,304,001)
		純資産の部計	25,900,602
資産の部計	70,317,254	負債・純資産の部計	70,317,254

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 3年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 店 売 上	113,343,610	
市事業委託料等	3,969,159	
レストラン売上	17,834,858	
温 泉 売 上	33,476,519	168,624,146
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	914,374	
仕 入 高	79,478,869	
材 料 費	7,449,690	
合 計	87,842,933	
期末棚卸高	983,675	86,859,258
売 上 総 利 益		81,764,888
【販売費及び一般管理費】		88,833,763
営 業 利 益		△7,068,875
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	555	
雑 収 入	10,664,901	10,665,456
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	5,000	5,000
経 常 利 益		3,591,581
税引前当期純利益		3,591,581
法人税等充当額		287,580
当 期 純 利 益		3,304,001

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 3年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	4,313,800
給 料 手 当	32,669,371
福 利 厚 生 費	6,086,814
雑 給	5,805,077
シルバー委託費	1,921,590
広 告 宣 伝 費	1,780,517
運 賃	49,070
燃 料 費	4,708,101
衛 生 費	6,135,083
一括資産償却費	38,160
水 道 光 熱 費	8,867,135
会 議 費	120,534
事 務 費	1,225,350
消 耗 品 費	2,631,617
地 代 家 賃	38,100
支 払 保 険 料	427,190
修 繕 費	1,814,232
租 税 公 課	4,382,900
減 価 償 却 費	1,354,491
接 待 交 際 費	287,253
旅 費 交 通 費	72,720
通 信 費	418,067
支 払 手 数 料	2,345,355
賃 借 料	923,656
諸 会 費	302,215
購 読 費	49,582
雑 費	65,783
合 計	88,833,763

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 3年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …………… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …………… 36,835,843 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 35,973 円 05 銭

1株当たりの当期純利益 …………… 4,588 円 89 銭

監 査 報 告

私監査役は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第27期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和3年5月24日

監査役 小林辰美

監査役 伊藤豊秀

報 告 書

上記のとおりご報告申し上げます。

令和3年6月2日

株式会社 日高振興公社

代表取締役社長 岡森且哉

専務取締役 久田喜三郎

取締役 小谷士郎

取締役 細谷文夫

取締役 村上勝幸

取締役 岡藤泰明

株式会社 日高振興公社 第28期（次期）事業計画及び予定損益計画

事業計画

2021年4月、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、兵庫県などを対象に3回目となる緊急事態宣言が出され、外出の自粛や休業の要請により、特に飲食店や観光業は大変厳しい状況が続いています。

今後、ワクチン接種が進み、景気回復への期待感が少しずつ高まることが予想されますが、先行きは不透明な状況です。

全国の「道の駅」は、毎年増えており、2021年3月までに1,187駅（昨年比較14駅増）が登録され、道の駅間の競争がさらに激しくなっています。当社においてもより地域の特性を活かした道の駅づくりが求められているところです。

道の駅「神鍋高原」の隣接地に来年後半オープン予定の民間ホテルは、食事や風呂、土産物について周辺施設を利用するというコンセプトであり、当社においてもこのニーズに対して適切に対応する必要があります。

これらの状況を踏まえ、当社については、今期も地域資源を活用して但馬地域の企業や団体との連携による6次産業の振興を図る事業を展開します。

売店部門では、引き続き神鍋高原の食材を使用した特産品開発を実施します。近年のキャンプ需要により増えたキャンプ場利用者向けの商品販売の充実を検討します。

飲食部門は、テイクアウトの商品開発を行い、販路を拡大します。また、高額メニュー開発による単価アップを実施します。

温泉部門は、入浴料とバスタオルのセット販売などのバリエーションを増やし、客単価の底上げを行います。

また、「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、フェイスブックや全国の道の駅ネットワークによる情報提供など、多様なチャンネルによる情報発信を行います。さらに、季節の野菜等の販売やイベント開催の告知をする幟旗を新調し、神鍋高原の魅力を分かりやすく施設に設置し発信します。

神鍋高原において今年予定されているスポーツ大会や学校関係等の合宿の中止が既に決定され、団体利用が少ない見込みです。また、近年、神鍋高原においても、個人旅行者への対応が求められています。

今後は、新たな宣伝方法や販売形態を検討し、但馬はもとより市内からの利用者を増やすための仕組みづくりやサービスを提供し、集客を図ります。

当社においても、今期も「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、常に話題性に富んだ事業の展開を図り、地域の賑わいを創り出すための取り組みを展開します。

予定損益計画

予定損益計算書

自 令和3年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和4年3月31日

科 目	金	額
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	189,000,000	
受 託 料 等	4,000,000	
		193,000,000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	983,675	
材 料 費	15,000,000	
仕 入 高	83,626,325	
合 計	99,610,000	
期 末 棚 卸 高	950,000	98,660,000
売 上 総 利 益		94,340,000
【販売及び一般管理費】		93,590,000
営 業 利 益		750,000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息		
雑 収 入	1,000,000	1,000,000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等		
雑 損 失		
経 常 利 益		1,750,000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 3 年 4 月 1 日

株式会社 日高振興公社

至 令和 4 年 3 月 31 日

科 目	金	額
		円
役員報酬	4,300,000	
給料手当	34,000,000	
退職給与引当金戻入	0	
福利厚生費	5,400,000	
雑給	6,000,000	
シルバ-委託費	2,300,000	
広告宣伝費	2,300,000	
運賃	80,000	
燃料費	6,000,000	
衛生費	7,000,000	
水道光熱費	10,000,000	
一括資産償却費	0	
会議費	100,000	
事務費	1,300,000	
消耗品費	3,300,000	
地代家賃	40,000	
支払保険料	550,000	
修繕費	500,000	
租税公課	4,400,000	
減価償却費	1,000,000	
接待交際費	400,000	
旅費交通費	100,000	
通信費	420,000	
支払手数料	2,100,000	
貸借料	1,500,000	
諸会費	340,000	
購読費	60,000	
雑費	100,000	
合 計		93,590,000

報告第13号

株式会社シルク温泉やまびこ第17期の決算及び第18期の事業計画に
関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和3年6月17日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

報告承認事項

第 17 期事業報告及び決算報告

1 事業報告

今年度はコロナ禍の影響で大型連休、年末年始と繁忙期に緊急事態宣言が発令され売上げが大幅にダウンしましたが、6月から11月までは、ステイ豊岡、Gotoトラベルのおかげで経常利益がプラスになりました。

しかし、緊急事態宣言解除後の1月から客足が伸びず、2月3月には温泉天井改修工事のため1か月間温泉を休館し売上げがマイナスの結果になりました。

結果

総売上	271,910 千円	予算比	89.9%	前期比	72.1%
営業利益	△34,357 千円	予算比	109.3%		
経常利益	△7,868 千円	予算比	412.3%	となりました。	

各部門の利用者数は、宿泊、休憩 10,016 人 前期比 54.6%、温泉 80,530 人 前期比 56.3%、自然の郷 1,663 人 前期比 69.1%となりました。

次に部門別売上高は、宿泊 161,196 千円 前期比 73.8%、温泉 52,095 千円 前期比 58.3%、売店 37,012 千円 前期比 76.0%、自然の郷 8,044 千円 前期比 83.7%となりました。

販売管理費におきましては、水道光熱費 20,090 千円 前期比 85.3%、燃料費 8,028 千円 前期比 54.3%、衛生費 11,970 千円 前期比 81.5% での3項目が多く削減できました。

また、お客様により喜んでいただけるように、1階客室からサブエントランスまでの床の張替え工事、クロス張替え工事を行いました。

来期も役員、社員一丸となり予算達成に取り組んでまいりますので、株主様をはじめ関係者皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 15 期	第 16 期	第 17 期
宿泊部門	220,174	218,464	161,196
売店部門	51,520	48,698	37,012
温泉部門	72,023	89,353	52,095
自然の郷部門	7,096	9,615	8,044
フィールド部門(注)	252	216	5,080
業務委託部門	6,551	6,463	6,240
自販機売上	3,837	4,097	2,243
合 計	361,453	376,906	271,910

(注) アウトドアの売り上げを第 16 期までは、「温泉部門」に計上。第 17 期からは、「フィールド部門」で計上。

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 15 期	第 16 期	第 17 期
営 業 利 益	4,012	4,925	△34,357
当 期 純 利 益	8,970	10,370	△7,080
総 資 産	99,262	106,541	116,523
純 資 産	77,155	87,525	80,446

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	岸 本 直 幸
取 締 役	大 井 靖 夫
取 締 役	羽 尻 泰 広
取 締 役	持 田 淳
監 査 役	小 林 辰 美
監 査 役	守 本 徹 宏

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	18	男性 10 人、女性 8 人
パート・契約	9	男性 2 人、女性 7 人
計	27	男性 12 人、女性 15 人

決 算 報 告 書

第 17 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

令和 3年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 110,452,505】	【流動負債】	【 8,247,144】
現金及び預金	102,401,254	買掛金	3,105,863
売掛金	3,075,061	未払金	3,704,593
商 品	950,828	前受金	2,000
貯 蔵 品	1,602,199	預り金	1,223,188
未収入金	2,360,163	法人税等充当金	211,500
前払費用	63,000	【固定負債】	【 27,830,000】
【固定資産】	【 6,070,191】	長期借入金	27,830,000
(有形固定資産)	(5,284,191)	負債の部計	36,077,144
建 物	640,007	純 資 産 の 部	
建物附属設備	1,509,668	【株主資本】	【 80,445,552】
構 築 物	2,790,823	[資本金]	[50,000,000]
車両運搬具	1	[利益剰余金]	[30,445,552]
工具器具備品	343,692	利益準備金	12,500,000
(無形固定資産)	(126,000)	(その他利益剰余金)	(17,945,552)
敷 金	126,000	別途積立金	20,000,000
(投資その他の資産)	(660,000)	繰越利益剰余金	Δ2,054,448
出 資 金	660,000	(うち当期純利益)	(Δ7,079,778)
		純資産の部計	80,445,552
資産の部計	116,522,696	負債・純資産の部計	116,522,696

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 3年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
宿 泊 売 上 高	161,196,436	
売 店 売 上	37,011,712	
温 泉 売 上	52,094,550	
自 然 の 郷 売 上	8,044,216	
フ ィ ー ル ド 売 上	5,080,226	
業 務 委 託 売 上	6,239,650	
自 販 機 売 上	2,242,829	271,909,619
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,392,233	
仕 入 高	97,117,814	
材 料 仕 入	571,635	
飲 料 仕 入	3,945,796	
合 計	103,027,478	
期 末 棚 卸 高	950,828	102,076,650
売 上 総 利 益		169,832,969
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】		204,190,458
営 業 利 益		△34,357,489
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	3,256	
雑 収 入	26,590,326	26,593,582
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	103,863	103,863
経 常 利 益		△7,867,770
【特 別 利 益】		
固 定 資 産 売 却 益	999,999	999,999
税 引 前 当 期 純 利 益		△6,867,771
法 人 税 等 充 当 額		212,007
当 期 純 利 益		△7,079,778

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 3年 3月31日

科 目	金 額	額
役 員 報 酬	5,056,000	
給 料 手 当	70,459,757	
法 定 福 利 費	11,355,682	
福 利 厚 生 費	2,571,393	
雑 給	121,763	
シルバー委託費	7,591,228	
広 告 宣 伝 費	3,274,133	
運 賃	180,391	
サ ー ビ ス 費	1,952,108	
燃 料 費	8,027,675	
衛 生 費	11,970,424	
リ ー ス 料	146,300	
外 注 費	9,132,439	
水 道 光 熱 費	20,089,896	
事 務 費	1,948,593	
消 耗 品 費	5,611,206	
地 代 家 賃	756,000	
支 払 保 険 料	691,510	
修 繕 費	13,644,363	
租 税 公 課	8,481,380	
減 価 償 却 費	1,477,993	
接 待 交 際 費	802,170	
旅 費 交 通 費	116,139	
通 信 費	878,081	
支 払 手 数 料	12,185,815	
賃 借 料	3,899,048	
諸 会 費	426,375	
購 読 費	224,772	
雑 費	1,117,824	
合 計		204,190,458

株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ	(単位：円)										自 令和 2年 4月 1日	至 令和 3年 3月 31日		
	株 主 本					資 本					株 主 資 本 計 合	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金	資 本 準 備 金	利 益 剰 余 金	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金				
当 期 首 残 高	50,000,000			12,500,000	25,025,330						87,525,330			87,525,330
当 期 変 動 額														
当 期 利 益														
当 期 変 動 額 合 計														
当 期 末 残 高	50,000,000			12,500,000	17,945,552						80,445,552			80,445,552

	利 益 剰 余 金		の 内 訳	
	利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 計
当 期 首 残 高	12,500,000	12,000,000	13,025,330	37,525,330
当 期 変 動 額				
利 益 剰 余 金 の 内 訳 目 間 の 振 替		8,000,000	Δ8,000,000	0
当 期 純 利 益			Δ7,079,778	Δ7,079,778
当 期 変 動 額 合 計	12,500,000	20,000,000	Δ2,054,448	30,445,552
当 期 末 残 高				

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 3年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後
に取得した建物付属設備・構築物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 19,730,167 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

令和3年6月3日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金取崩額 …………… 3,000,000 円

次期繰越利益剰余金 …………… 945,552 円

4. 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たりの純資産額 …………… 80,445 円 55 銭

1 株当たりの当期純利益金 …………… △7,079 円 77 銭

監査報告

私監査役は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの
第17期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、
事業報告及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和3年5月17日

監査役 小林辰美

監査役 守本徹宏

第18期事業計画及び予定損益計画

1 事業計画案

前期から続いていますコロナ禍の影響で先行きが不透明ですが、感染拡大を防止し、経営理念にもあります笑顔、魅力、思いやりを念頭に置きワンチームでお客様に喜ばれる施設を目指します。

予算計画

総売上	349,750千円（前期実績	271,910千円、	77,840千円）
営業利益	△6,050千円（前期実績	△34,357千円、	△28,307千円）
経常利益	467千円（前期実績	△7,868千円、	△8,334千円）

今期の具体的な取り組み

- (1) 宿泊では、おすすめ料理の販売を強化してまいります。
- (2) 売店では、月別に重点販売商品を決め販売強化してまいります。
- (3) 温泉では、3密対策としてロッカー数を減らし人数制限をし、新たな企画での集客に取り組んでまいります。
- (4) 昨年度から伸びてきましたバーベキューを中心に、3密を避けれるキャンプ等アウトドア事業に取り組んでまいります。
- (5) 費用面では、今期も水道光熱費、燃料費、衛生費の削減に全社で取り組んでまいります。

中長期の計画として、

- 長期勤続によるキャリア形成を図るため、35歳までの社員を募集してまいります。

社員の健康を最優先し、コロナウィルス感染防止を徹底し、安全、安心でクリーンな施設管理につとめ役員、社員一丸となり集客に取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2 予定損益計画案

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

科 目		金 額	
【経常利益の部】			千円
(営業損益の部)			
【売上高】			
売上高		349,750	
			349,750
【売上原価】			
期首棚卸高		1,390	
仕入高		127,470	
合計		128,860	
期末棚卸高		1,390	127,470
	売上総利益		222,280
【販売費及び一般管理費】			228,330
	営業利益		△ 6,050
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		7	
雑収入		6,510	6,517
	経常利益		467

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

科 目				金 額
				千円
役 員 報 酬				5,400
給 料 手 当				80,470
法 定 福 利 費				11,800
福 利 厚 生 費				2,460
シ ル バ ー 委 託 費				8,100
広 告 宣 伝 費				4,970
運 賃				150
サ ー ビ ス 費				2,290
燃 料 費				13,240
衛 生 費				12,910
リ ー ス 料				150
外 注 費				13,270
水 道 光 熱 費				21,990
事 務 費				2,130
消 耗 品 費				3,800
支 払 保 険 料				800
修 繕 費				12,090
租 税 公 課				12,580
減 価 償 却 費				840
接 待 交 際 費				550
旅 交 通 費				330
通 信 費				900
支 払 手 数 料				10,150
賃 借 料				4,210
諸 会 費				450
購 読 費				100
地 代 家 賃				760
雑 費				1,440
合 計				228,330

第75号議案

豊岡市手数料条例の一部を改正する条例制定について

豊岡市手数料条例の一部を改正する条例を次のように定める。

令和3年6月17日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

(理由)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、個人番号カードの発行を地方公共団体情報システム機構が行うため。

豊岡市条例第 号

豊岡市手数料条例の一部を改正する条例

豊岡市手数料条例（平成17年豊岡市条例第62号）の一部を次のように改正する。
別表第1中16の項を削り、17の項を16の項とし、18の項から32の項までを1項ずつ繰り上げる。

附 則

この条例は、令和3年9月1日から施行する。

豊岡市手数料条例の一部を改正する条例案要綱

1 改正の内容

手数料を徴収する事務及び額を定める総務手数料関係の表から、個人番号カードの再交付手数料に係る規定を削ること。(別表第1関係)

2 附則

この条例は、令和3年9月1日から施行すること。

豊岡市手数料条例新旧対照表

現行		改正後 (案)	
別表第1 (第2条関係) 総務手数料関係		別表第1 (第2条関係) 総務手数料関係	
手数料を徴収する事務		手数料を徴収する事務	
1 ～ 15	略	1 ～ 15	略
16	個人番号カードの再交付(個人番号カードの追記欄の余白がなくなった場合その他の特別の事由があると市長が認める場合を除く。)	16	略
17 ～ 32	略	16 ～ 31	略
手数料の額		手数料の額	
	略		略
	1件につき 800円		

令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）

令和3年度豊岡市の一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

- 第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ29,089千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ49,069,987千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和3年6月17日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
16. 国庫支出金		5,397,559	18,289	5,415,848
	2. 国庫補助金	2,706,939	18,289	2,725,228
20. 繰入金		3,818,327	10,800	3,829,127
	2. 基金繰入金	3,756,194	10,800	3,766,994
歳入合計		49,040,898	29,089	49,069,987

歳 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
3. 民 生 費		13,134,919	18,289	13,153,208
	1. 社 会 福 祉 費	3,800,559	18,289	3,818,848
7. 商 工 費		1,880,698	10,800	1,891,498
	1. 商 工 費	1,880,698	10,800	1,891,498
歳 出 合 計		49,040,898	29,089	49,069,987

令和 3 年 度 豊 岡 市 一 般 会 計
補 正 予 算 (第 8 号) に 関 する 説 明 書

歳入歳出補正予算事項別明細書

1. 総括 (歳入)

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計
16. 国庫支出金	5,397,559	18,289	5,415,848
20. 繰入金	3,818,327	10,800	3,829,127
歳入合計	49,040,898	29,089	49,069,987

(歳出)

款	補正前の額	補正額	計
3. 民生費	13,134,919	18,289	13,153,208
7. 商工費	1,880,698	10,800	1,891,498
歳出合計	49,040,898	29,089	49,069,987

(単位 千円)

補 正 額 の 財 源 内 訳			
特 定 財 源			一 般 財 源
国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
18,289			
			10,800
18,289	0	0	10,800

2. 歳 入

(款) 16. 国庫支出金

(項) 2. 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
2. 民生費国庫補助金	1,283,075	18,289	1,301,364
計	2,706,939	18,289	2,725,228

(款) 20. 繰入金

(項) 2. 基金繰入金

目	補正前の額	補正額	計
1. 財政調整基金繰入金	2,612,164	10,800	2,622,964
計	3,756,194	10,800	3,766,994

(単位 千円)

節		説	明
区 分	金 額		
1. 社会福祉費補助金	18,289	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	18,289

(単位 千円)

節		説	明
区 分	金 額		
1. 財政調整基金繰入金	10,800	財政調整基金繰入金	10,800

3 歳 出

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
1. 社会福祉総務費	1,104,111	150	1,104,261	150			
16. 生活困窮者自立支援事業費	25,905	18,139	44,044	18,139			
計	3,800,559	18,289	3,818,848	18,289			

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
2. 商工振興費	1,175,839	10,800	1,186,639				10,800
計	1,880,698	10,800	1,891,498				10,800

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
3. 職員手当等	150	人件費 150 時間外勤務手当 150
10. 需用費	8	生活困窮者自立支援金給付事業費 【社会福祉課】 18,139 消耗品費 2
11. 役務費	131	修繕料 6 通信運搬費 111
18. 負担金、補助及び交付金	18,000	手数料 20 交付金 18,000 生活困窮者自立支援金 18,000

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
18. 負担金、補助及び交付金	10,800	商工振興事業費 【環境経済課】 10,800 交付金 10,800 酒類販売事業者等事業継続支援金 10,800